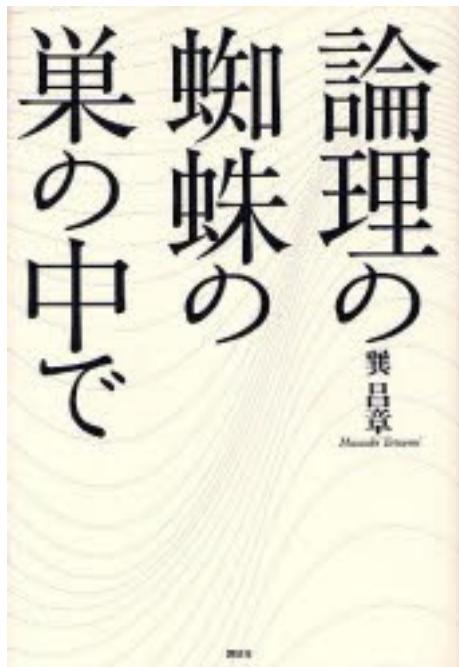


# 論理の蜘蛛の巣の中で



[論理の蜘蛛の巣の中で](#) [下载链接1](#)

著者:巽昌章

出版者:講談社

出版时间:2006年10月

装帧:単行本

isbn:9784062135214

松本清張、島田莊司、有栖川有栖、北村薰、東野圭吾、綾辻行人、法月綸太郎、京極夏彦、高田崇史、殊能将之、舞城王太郎、西尾維新…連綿と連なるミステリーの系譜を、鋭利にそして流麗に斬る。京大ミステリー研にこの人ありと言われた伝説のカリスマ・巽昌章、初のミステリー評論集。

巽昌章、初評論集完成!  
メフィストに連載されていた「論理の蜘蛛の巣の中で」がついに1冊の本となって刊行されます。氏の深く、鋭いミステリー評論は、一読の価値あります。

=====目次=====

操りを越えて

つながる人々

ゆるんだ世界

盤から落ちるもの

量産品神話

部分と全体

吸い出される内面

分裂と連続

類推の引力

混沌へ

家族の愛

浮遊するパズル

回路が開く

力タチの魔

答えは私

思い邪無し

解釈の地獄

トリックは語る

蘇る時間

空虚の探求

子供の領分

ふるさと

空間と視線

作者紹介:

巽昌章 (1957年4月5日 -

) 日本ミステリ一批評家、弁護士。三重県上野市出身。京都大学法学部卒業。京都大学推理小説研究会OB。2006年に刊行した初の評論集、『論理の蜘蛛の巣の中で』(講談社刊)で、2007年、第60回日本推理作家協会賞評論その他の部門と第7回本格ミステリ大賞評論・研究部門を受賞した。

目录:

[論理の蜘蛛の巣の中で](#) [下载链接1](#)

## 标签

推理评论

推理

日本

巽昌章

本格推理大赏

日系推理

推理小说

推协赏

## 评论

推理解說中，有像中島河太郎、權田萬治那種文筆優美、知識豐富讓人讀了內心平靜美好的作者，也有像唐諾、笠井潔這種借解說之形提出自己文學、哲學等理論和思考的書評家.而巽昌章則是像日下三藏所說：不但在導出的結論中分析每部作品，還提到圍繞整體的推理史和現代推理的狀況之中，它們到底擁有何種意味.這就不但需要大量的閱讀，還需要具有超一流的洞察力.唐和笠都太過囉嗦，而巽則僅憑借這些八年間在「梅菲斯特」上連載結集的短小深入的、被日稱為「全時代最偉大的傑作」的睿智文字，為他在評論領域留下了永恆的地位.

粗略浏览了一遍，后续更新长评，个人的阅读量仍旧远远不够。

[論理の蜘蛛の巣の中で](#) [下载链接1](#)

书评

[論理の蜘蛛の巣の中で](#) [下载链接1](#)